

亀山市事務事業点検制度『ザ・点検 ～亀山モデル～』（三重県亀山市）

取組概要

今までの事業仕分けの手法を活用した二重構造の事業仕分け

- ① 将来を担う中堅職員による内部点検
- ② 外部委員による外部点検

人口 49,551人 (H28.6.1現在)

担当 財務部財政行革室

取組の効果

[予算的效果]

平成27年度予算反映額 △9,112千円

平成28年度予算反映額 △3,410千円

[意識改革的効果]

中堅職員を事業仕分け評価者に任命したため、多種多様な事業に目配ることが出来、スキルアップを図れたとともに、行政経営資源の効率的な再配分の財政担当以外の意識改革も行えた。



中堅職員による勉強会風景

創意・工夫した点

- ①職員による内部点検と学識経験者や市民委員などによる外部点検の2段階方式による取り組み
- ②内部点検評価者に将来を担う中堅職員(概ね30歳～45歳)を選定し、持続可能な行財政運営を図る。

他団体へのアドバイス

職場や職種が違う職員が集まって内容を分析し、議論を重ねる事で視野が広がり、様々な場面において多面的に物事をみる力を養えると点があるため、事業の検証だけでなく職員研修(“人財”の育成)として是非活用していただきたい。



ザ・点検～亀山モデル～実施状況